

MAGARIDA Hirokazu

教授

曲田 浩和 マガリダ ヒロカズ

文学修士（東洋大学）

東洋大学文学部卒業(1988), 東洋大学大学院文学研究科修了(1991), 学習院大学大学院人文科学研究科単位取得満期退学(1994), 江東区芭蕉記念館職員(1994~1997), 学習院大学非常勤講師(1997), 日本福祉大学知多半島総合研究所主任研究員(1997~2000), 日本福祉大学非常勤講師(1997~2000), 日本福祉大学赴任(2000).

【研究分野】

日本史.

【キーワード】

幕藩制市場構造, 伊勢湾周辺地域と江戸, 湊と廻船, 農村の産業, 都市の商業.

【担当授業科目】

学 部：卒業研究, 日本の歴史, 日本経済史,
地域研究.

通信教育部：日本史.

【主な研究テーマ】

1. 産業の発達と流通

18世紀中頃から, 醸造業をはじめ多くの加工業が飛躍的に発展するようになった. さらに舟財船などの大型廻船は, 大量輸送手段として大きく成長していく. 特に伊勢湾周辺地域は, 消費地江戸の物資供給地として栄えることになる. 産業がどのように地域のなかで育っていくのか, 販売の動向や消費を視野に入れた研究を行っている.

2. 都市商業と商人

江戸は巨大都市であり, 大消費地である. そこには多くの物資が集められ, 様々な業種の商人によって販売されていた. 米・雑穀・材木などの生活物資の流通に注目し, 商人がどのような取引・経営を行っていたかを研究している.

【主な研究業績】

<著書>

- 『愛知県史 資料編 17 尾東・知多 近世 3』, 共著, 「総合解説」 pp. 1-14, 愛知県, 2010. 03.
- 『事典で調べる江戸時代』, 共著, 「諸産業の発達」 pp. 342-356, 柏書房, 2004. 01.
- 『番付で読む江戸時代』, 共著, 「名産品を競う」 pp. 170-185, 柏書房, 2002. 03.
- 『史料が語る日本の近世』, 共著, 「帳簿にみる中野又左衛門家の経営に就いて」 pp. 265-284, 吉川弘文館, 2002.

<論文>

- 「近世中後期における産業・流通の展開と伊勢湾地域」, 『歴史学研究』No. 859, 単著, 歴史学研究会, 2009. 10, pp. 83-93.

- 「碧海郡川島村太田佐兵衛の為替取組の実態」, 『安城市史研究』第10号, 単著, 安城市, 2009. 03, pp. 33-53.
- 「尾張国知多郡下半田村の頭百姓制にみる村社会の一端」, 『知多半島の歴史と現在』No. 14, 単著, 日本福祉大学知多半島総合研究所・校倉書房, 2007. 12, pp. 161-191.
- 「十八世紀の平坂湊・大浜湊と三河の廻船」, 『愛知県史研究』第9号, 単著, 愛知県, 2005. 03, pp. 46-59.
- 「榎前村の御収納米帳について」, 『安城市史研究』第5号, 単著, 2003. 08, pp. 55-66.
- 「大坂登り下り船問屋と内海船」, 『知多半島の歴史と現在』No. 11, 単著, 日本福祉大学知多半島総合研究所・校倉書房, 2003. 05, pp. 62-64.
- 「近世後期における榎前村の木綿生産と販売」, 『安城市史研究』第3号, 単著, 2002. 04, pp. 17-31.
- 「元禄・享保期の尾張積大坂行材木輸送と熱田船問屋」, 『徳川林政史研究所「研究紀要」』第36号, 単著, 2002. 04, pp. 79-92.

【所属学会】

歴史学研究会(1989~, 編集委員1997~1998).

【社会における活動と仕事】

愛知県史編さん委員会 近世史調査執筆員(2004~), 三重県史編さん委員会 近世史部専門員(2004~), 半田市 文化財審議委員(2008~), 碧南市 文化財審議委員(2010~).